

崇徳興仁

中 高
SOTOKU
同窓会だより

NO.
24

2012年(平成24年)11月9日 崇徳学園同窓会本部発行 崇徳学園同窓会ホームページ <http://www.soutoku-ob.net>
崇徳学園同窓会事務局 / 〒733-8511 広島市西区楠木町4丁目15番13号 TEL(082)237-9331 FAX(082)230-2897



▲ 崇徳学園正門で、永年にわたり崇徳生を見守り続けている「説法獅子吼」の像。

本校は、明治八年に浄土真宗篤信家の護法興業悲願から誕生して以来、豊かな心と知識、実践力を兼ね備えた幾多の若者を育成し、情熱に満ちた緻密な教育のもと、大学進学をはじめ、生徒個々に希望の進路を切り拓き、今年で一三八年目の輝かしい歴史と伝統を誇る名門校に成長しました。これも三万名を越える同窓諸兄が各地各界において活躍されておられる賜であります。そして今もなお「崇徳興仁」の精神を拠り所として精進される姿は、時代は移り学び舎も変われども、正門にて一心不乱に建学の精神を生徒たち送り続ける「獅子吼」の姿に合い重なり、いつも胸を熱くさせるのであります。現在学ぶ生徒たちもどうかこの精神を忘れることなく立派に巣立つてほしいものです。

さて崇徳学園の建学の精神は、宗祖親鸞聖人が同じく「無量寿経」の中で「真実の教え」として説かれた「崇徳興仁、務修礼讓」です。その意味は「善い行いをとつとび(崇徳)、思いやりの心をおこし(興仁)、つとめて礼儀を守り互いに譲り合う(務修礼讓)」ということです。

CONTENTS	
大本会長あいさつ	(P.2)
高橋理事長あいさつ	(P.2)
吉田校長あいさつ	(P.3)
同窓会この一年	(P.3)
今年度の合格状況	(P.4)
崇徳祭	(P.4)
全国大会出場のクラブ紹介	(P.5)
ロンドン五輪壮行会	(P.5)
世界に飛躍する同窓生	(P.6)
支部だより	(P.6)
Pick Up同窓生	(P.7)
頑張っています文化部	(P.8)
中学校トピックス	(P.8)

崇徳学園同窓会の最新活動状況は崇徳学園ホームページで。
崇徳学園同窓会 で (検索) して下さい。.....www.soutoku-ob.net

これからの同窓会の発展を念じて

崇徳学園同窓会会長

大本 和 則 (昭和44年卒)



「顔の見える同窓会」を活動テーマに崇徳祭への参加、PTAとの協議会、ホームページの充実、委員会の設置等役員の皆様と一緒に頑張って同窓会活動に取り組み六年が経過しました。しかしながら、目標に掲げた同窓会の活性化にはまだまだ不十分な状況にあると感じております。

また、同窓会活動を行うために大切な財政基盤の確立も十分にできてはおりません。

このような状況の中で、今年度も退任することになりましたことについて、たいへん申し訳ないと思いますが、新しい会長のもとで視点を変えて活性化の風を起こしていただければと願っております。私自身この六年間、伝統ある同窓会の会長をさせていただき、多くの同窓の皆様と親しく接しさせていただいたことは大変幸せでありました。また、崇徳学園の諸行事にも参加させていただく中で、崇徳学園の「崇徳興仁」の建学の精神のすばらしさをあらためて感じております。

今日まで何とか会長職を務めることができましたのも役員の皆様、会員の皆様のご協力のおかげでございます。加えて、崇徳同窓会関東支部並びに近畿崇徳会の皆様にも、同窓会に対し大きなご支援をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、崇徳学園並びに崇徳学園同窓会の堅実な発展を願っています。私自身今後とも同窓という縁を大事にしたいと思っております。大変お世話になりました。ありがとうございます。

崇徳学園同窓会役員名簿(二〇二一年度)

会長	大本 和 則 (S44年卒)	副会長	河野 敏 敏 (S55年卒)
副会長	森 正 則 (S31年卒)	副会長	誠 晃 成 (H3年卒)
副会長	松 宏 明 (S41年卒)	副会長	成 彦 彦 (H5年卒)
副会長	永 健 二 (S42年卒)	副会長	彦 彦 彦 (S54年卒)
副会長	齋 藤 範 二 (S47年卒)	副会長	彦 彦 彦 (S54年卒)
副会長	山 本 康 裕 (S51年卒)	副会長	彦 彦 彦 (H2年卒)
副会長	片 山 ち く 淳 (S51年卒)	副会長	彦 彦 彦 (H2年卒)
副会長	片 山 ち く 淳 (S51年卒)	副会長	彦 彦 彦 (H2年卒)

事務局長 樽田 秀幸 (H2年卒)

監査長 中川 隆夫 (S54年卒)

監査長 清水 彦彦 (S54年卒)

監査長 川 水 彦 彦 (S54年卒)

監査長 水 彦 彦 (S54年卒)

監査長 彦 彦 彦 (S54年卒)

監査長 彦 彦 彦 (S54年卒)

監査長 彦 彦 彦 (S54年卒)

監査長 彦 彦 彦 (S54年卒)

監査長 彦 彦 彦 (S54年卒)

時代の要請に応える崇徳教育

崇徳学園理事長

高橋 乘 宣 (昭和33年卒)



グローバル時代と言われる時代になって、およそ20年が経ちました。この間、経済活動は文字通り国境なき展開を続け、製造業も非製造業も世界に向かつてはばたきました。そして今や、文字通り地球規模のサプライチェーンが形成されてきています。海外現地で採用している従業員と国内採用の従業員の考課・昇級を共通化する動きや、

国内採用の従業員に一定期間の海外勤務を義務付ける動きなども始まっています。その一方で、イスラム諸国における内紛の激化で、北アフリカ、中東地域では戦火さえ交える状況であり、またユーロ諸国の財政危機はユーロ圏の解体にさえつながりかねない深刻な状況になっています。そうした中で、東アジアでは、日本と、中国及び韓国との国境線争いが先鋭化していることはご承知の通りです。

こうして、日本を含む地球世界が、はたして今後どのような状況になっていくのか、想像を絶する時代になっています。今の十代の若者たちは、この厳しい時代を生き抜き、新しい希望の時代を切り開いてくれねばなりません。それだけの気概と根性と能力を備え持った人材を育成することが、現代の中・高等教育の最大の責務だと思います。

母校・崇徳学園は、「海の内外の隔て無き」「みおやの徳」(真宗宗歌)を崇めつつ、日々、文武両道に精進している、たぐい稀な学園です。時代の要請に最もよく応える教育が実践されており、その成果は着実に送り出されております。

先日、久しぶりに崇徳中学の運動会を観戦し、生徒たちの明るく力強い、しかも思いやりにあふれた競技を目の当りにし、あらためて崇徳教育のすばらしさに感じ入りました。その同じ日(10月7日)に高校野球の県大会で崇徳チームが優勝し中国大会へ出場いたしました。進学の面では、国公立大へ毎年400〜500人、早慶明法、関関同立などの有名私大へもほぼ同数の合格者を出しております。

こうした輝かしい成果は、生徒たちの努力に加えて、教職員の皆様のご尽力と同窓諸兄の暖かいご支援・ご協力があつてこそのものであります。今後とも引き続きのご協力をお願いしますとともに、ご都合が許せば運動会や文化祭等の行事にも是非お運びくださいますようお願いいたします。

太田川は滔々と清く

崇徳中・高等学校長

吉田 義 視



本川は変わらず清らかに流れています。みなさまが通われた時代は違っても、ここ楠木(三篠・大芝)の校地から眺めるあたりの景色は昔も今も変わらずに雄大です。

同窓生諸兄のみなさま、母校崇徳には今年も元気な一年が巡りました。平成二十四年度は、中学校が八学級二七一人、高校は各学年とも四百余人の各十二学級・一二五〇人がそろい、合計四十四学級、総勢一四五〇余人の生徒と二九人の教職員が、みなさまの後をうけて学び舎「崇徳」を元気に活気とで満たしています。高校が全学年四百人を上回る十二学級に揃ったのはとても喜ばしいことです。これは崇徳生が進学やクラブ活動、また日頃の生活ぶりなど各方面で活躍し、これは幅広い成果を世間に認めていただいたことで、長く続く生徒減少期の厳しさの中でも母校の評判が高く保たれているからに他なりません。崇徳生の活躍とそれを世間様が見て下さるおかげであると感謝し、生徒諸君の頑張りと指導に当たる教職員の努力に大きな讃辞を捧げたいと思います。

今年三月に崇徳を巣立ち、みなさまの仲間に加えられた卒業生は三四八八例年の八割とやや人数が少なかったので絶対数の減少は避けられませんでした。が、進学実績の内容は前年と同様になかなか良好でした。広島大学医学部医学科に現役合格者があり、大阪大学や神戸大学などの旧帝大、また地元広島大学や山口・愛媛大学など、国立立大学へ四十人が合格、私立大学合格の状況も卒業人数の割には良好でした。

一方、クラブ活動も盛大で成果も良好、運動部を中心に、選抜大会、インターハイと全国大会への出場が相次ぎ、岐阜の清流国体にも六クラブが出場しました。硬式野球は秋の県大会優勝で中国大会(山口)に進みます。

心うろたえるおいが失われたいのは大人社会に限ったことではありませんが、崇徳生は強く逞しく、そして他には優しく接することのできる心豊かな人間に成長して欲しいものと、日々の教育実践を進めています。

秋風が土手のススキの穂を靡かせ始めて、太田川の悠々の流れは、今朝も自転車で駆け抜ける崇徳生を、クラブの荷物をいっぱいに詰め込んだ大きなバッグを抱えて登校する崇徳生を、満ちながら引きながら見上げつつ、滔々と流れています。旧1号館に冷房が設置され、安田学園との間に北大橋がかかり、また、体育館や校舎が建て替えられてライオンと蘇鉄が移されても、やはり二葉山は繁く、

同窓会(一)の一年

- 11月1日 同窓会会計監査
 - 崇徳学園理事長室(清水監査・中川監査)
 - 第10回正副会長会議(崇徳学園体育館)
 - 2010年度決算・2011年度予算について
 - 幹事の退任・選任について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 第7回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2011年度同窓会総会・懇親会について
 - 2010年度決算・2011年度予算について
 - 幹事の退任・選任について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 11月3日 崇徳祭(崇徳学園)
 - わた菓子・ポップコーン スリママフラタオルの販売
 - ステージライブ(HiDDY・石川寛樹)
 - マジック(RYO)
 - 齋藤副会長・片山幹事・河野副会長・龍水副会長
 - 灘本幹事・桑原幹事・松田幹事
 - 11月11日 2011年度同窓会総会及び懇親会
 - 2010年度活動報告並びに監査報告に関する件
 - 2010年度決算報告並びに監査報告に関する件
 - 幹事の退任・選任について
 - 2011年度予算に関する件
 - 11月28日 報恩講(崇徳学園体育館)
 - (大本会長・森正副会長・永井副会長・山本副会長・鶴岡副会長)
 - 1月5日 全国高校選抜大会応援(ハレーホール)
 - 2月2日 第1回正副会長会議(ANAクラウンホテル)
 - 2011年度同窓会懇親会の反省と今後の課題について
 - 協賛広告者の同窓会HPへの掲載について
 - 委員会の運営について
 - その他
 - 2月29日 崇徳高等学校卒業生表彰式
 - (崇徳学園体育館)
 - (大本会長)
 - 3月1日 崇徳高等学校卒業式(崇徳学園体育館)
 - (大本会長・永井副会長・山本副会長・鶴岡副会長)
 - 3月13日 第2回正副会長会議(広島パシフィックホテル)
 - 2011年度同窓会総会・懇親会について
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 近畿崇徳会について
 - その他
 - 3月25日 近畿崇徳会(大阪・大成園)
 - (吉田校長・中川監査・田部事務局)
 - 4月9日 第65回崇徳高等学校入学式(崇徳学園体育館)
 - (森正副会長・山本副会長・河野副会長・鶴岡副会長)
 - (森正副会長・山本副会長・鶴岡副会長)
 - 4月13日 崇徳学園歓迎会(広島カトリック)
 - (森正副会長・山本副会長・河野副会長・清水監査)
 - 4月25日 2011年度同窓会懇親会会計監査
 - (崇徳学園理事長室(清水監査・中川監査))
 - 第1回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2011年度同窓会懇親会の収支決算について
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 5月21日 宗祖降誕会開校記念式(崇徳学園体育館)
 - (森正副会長・山本副会長・河野副会長・鶴岡副会長)
 - 6月6日 第2回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 会長選考委員会について
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 6月23日 PTA同窓会懇親会(広島国際ホテル)
 - 6月28日 第3回正副会長会議(崇徳学園体育館)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 同窓会グッズについて
 - その他
 - 7月4日 第3回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 7月7日 関東支部総会(東京・ホテル機山館)
 - (大本会長・田部事務局)
 - 7月8日 上川大樹(トロンオリンピック)出場壮行会
 - (ANAクラウンホテル広島(大本会長・森正副会長・齋藤副会長・山本副会長))
 - 8月6日 原爆忌(崇徳学園)(大本会長・森正副会長)
 - 8月8日 第4回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 9月3日 第4回正副会長会議(広島国際ホテル)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 9月10日 第5回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 10月7日 中学校運動会(崇徳学園大芝グラウンド)
 - (大本会長・山本副会長・河野副会長)
 - 10月11日 第5回正副会長会議(崇徳学園体育館)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 同窓会規約の改訂について
 - その他
 - 第6回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 崇徳祭について
 - その他
 - 10月15日 同窓会奨学生採用伝達式
 - (崇徳学園理事長室)(大本会長)
 - 10月26日 第6回正副会長会議(崇徳学園体育館)
 - 2011年度活動報告・決算・2012年度予算案
 - 同窓会規約の改訂・評議員推薦規程について
 - その他
 - 10月29日 第7回幹事会(崇徳学園会議室)
 - 2012年度同窓会総会・懇親会について
 - 2011年度活動報告・決算・2012年度予算案
 - 同窓会規約の改訂・評議員推薦規程について
 - その他
- ※その他必要に応じて各委員会を開催しました。

2011年度大学・短大・専修学校合格状況

●国立大学合格者数

大学名	11	10	09
北海道	0	1	0
北見工業	0	0	1
筑波	0	2	0
茨城	0	1	0
埼玉	0	0	1
東京外国語	1	0	0
東京学芸	0	1	0
東京工業	0	0	1
東京農工	1	0	0
電気通信	0	1	0
名古屋	0	1	0
三重	0	1	0
滋賀	0	1	0
京都教育	0	0	1
大阪	1	1	1
神戸	1	1	2
和歌山	1	0	0
鳥取	1	0	0
島根	2	0	0
岡山	1	1	0
広島	4	10	5
山口	5	9	5
香川	1	0	0
愛媛	3	4	3
高知	0	0	1
九州	2	1	0
九州工業	1	1	2
長崎	0	0	1
佐賀	0	1	0
熊本	1	0	0
合計	26	38	24

●公立大学合格者数

大学名	11	10	09
前橋工科	1	0	0
大阪府立	0	2	0
鳥取環境	2	0	0
島根県立	1	0	1
福山市立	0	1	0
尾道	1	0	0
県立広島	1	3	2
広島市立	4	4	7
下関市立	1	2	0
北九州市立	3	2	1
長崎県立	0	1	0
合計	14	15	11

●文部科学省所管外大学校

大学名	11	09	08
防衛大学校	2	2	0
合計	2	2	0

●私立大学合格者数

大学名	11	10	09
札幌学院	0	9	0
道都	0	0	1
流通経済	1	0	2
上武	1	0	0
埼玉工業	0	1	0
東京国際	0	1	1
獨協	1	0	0
文教	1	0	0
神田外語	1	0	1
国際武道	1	0	0
千葉経済	1	0	0
千葉工業	1	0	0
千葉商科	0	1	0
帝京平成	2	2	0
青山学院	1	0	2
亜細亜	0	2	0
桜美林	0	0	2
学習院	1	0	4
北里	1	1	0
国立音楽	0	0	1
工学院	0	2	1
国學院	0	2	4
国士館	3	3	1
駒澤	0	1	1
芝浦工業	6	6	3
昭和	1	0	0
成蹊	0	0	1
成城	0	0	1
専修	8	7	6
創価	0	6	1
大東文化	0	1	3
拓殖	1	4	3
多摩	0	1	0
中央	2	2	3
帝京	2	2	2
帝京科学	1	1	0
東海	5	7	6
東京医療保健	0	0	1
東京聖栄	0	0	1
東京工科	4	0	0
東京歯科	0	0	3
東京電機	2	1	1
東京都市	1	0	0
東京農業	2	3	6
東京未来	1	0	0
東京薬科	1	0	0
東京理科	2	0	5
東洋	4	2	3
二松学舎	1	1	1
日本	17	7	14
日本体育	0	1	1
文京学院	0	1	0
法政	8	7	7
武蔵野	0	3	0
明治	2	7	4
明治学院	1	0	0
明星	1	0	17
目白	1	0	0
立教	0	0	2
立正	4	2	1
早稲田	2	3	0
神奈川	3	0	1
神奈川工科	1	0	0
神奈川歯科	1	0	0
関東学院	2	4	0
東京工芸	0	1	0
横浜薬科	0	1	0
山梨学院	4	1	0
金沢医科	0	0	1
金沢工業	1	6	0
朝日	1	0	0
岐阜聖徳学園	0	1	1
中部学院	1	0	0
静岡産業	1	0	0
愛知	3	0	1
愛知医科	0	0	1
愛知工科	1	0	0
愛知工業	0	1	0
愛知東邦	0	1	0
大同工業	1	0	0
中京	2	5	7
名古屋学院	2	0	1
名古屋商科	1	1	1
日本福祉	0	2	0
南山	0	0	1
藤田健康衛生	0	0	1
名城	4	0	3
皇学館	0	0	1
長浜バイオ	2	0	0
大谷	2	3	0
京都外国語	2	3	0
京都学園	0	1	1
京都産業	2	8	3
京都精華	0	1	1
京都造形芸術	1	0	0
京都文教	0	0	1
同志社	7	13	9
佛教	0	2	1
明治国際医療	0	1	0
立命館	11	18	12
龍谷	19	33	14
追手門学院	1	0	0
大阪大谷	0	0	2
大阪学院	2	3	2
大阪経済	2	1	0
大阪芸術	0	0	1
大阪工業	0	1	1
大阪国際	1	1	1
大阪産業	4	2	4
大阪体育	0	1	0
大阪薬科	0	1	0
大手前	0	0	1

●短期大学合格者数

大学名	11	10	09
関西	12	18	11
関西外国語	3	2	2
近畿	7	18	9
四天王寺	1	0	0
摂南	3	2	2
阪南	3	1	2
桃山学院	7	2	0
関西学院	6	2	1
甲南	7	1	2
神戸学院	6	2	1
神戸芸術工科	0	0	1
神戸国際	1	0	1
神戸薬科	0	0	1
姫路獨協	1	1	0
兵庫	0	1	0
兵庫医療	2	0	0
流通科学	1	0	1
帝塚山	3	0	0
奈良	0	4	0
エリザベト音楽	1	0	0
近畿(東広島)	6	10	7
日本赤十字広島	2	0	1
比治山	5	11	6
広島経済	41	37	58
広島工業	65	85	32
広島国際	33	49	30
広島国際学院	2	6	3
広島修道	58	80	58
広島都市	2	0	1
広島文化学園	0	5	3
福山	4	3	2
福山平成	1	3	2
岡山商科	1	0	0
岡山理科	9	5	1
川崎医科	0	0	1
川崎医療福祉	1	1	4
吉備国際	2	1	0
くらしき作陽	0	2	0
倉敷芸術科学	0	2	1
就実	1	0	2
東亜	2	0	0
徳山	1	2	1
徳島文理	0	1	0
松山	5	2	5
近畿(九州)	1	0	0
九州国際	0	1	0
九州産業	1	0	0
久留米	0	1	0
西南学院	1	0	1
西日本工業	1	0	0
福岡	10	5	6
福岡歯科	1	1	0
九州保健福祉	0	0	2
崇城	1	0	0
合計	502	651	473

大学名	11	10	09
国立・公立等計	40	53	35
所管外計	2	2	0
私立計	502	593	437
短大計	5	3	1
総計	549	651	473



崇徳祭に参加！ 「Link to Life ～生命を繋ぐ想い～」

11/3

今年も11月2日・3日に崇徳祭が行われ同窓会は3日に出店し、在校生に負けないよう同窓会活動を元気にアピールいたしました。

今年の崇徳祭のテーマは「Link to Life ～生命を繋ぐ想い～」昨年、飲酒事故によって三浦伊織君の尊い命が犠牲となった悲しみを契機に、「命のメッセージ展」が同時開催となりました。

今年の同窓会からの出店内容は昨年好評のポップコーンと綿菓子をソートク自動車の増田社長から器具備品を拝借して行い、PTA販売ブースの隣で、手際よく作成し保護者の皆さんとも和気藹々に大盛況となりました。

また、今年は特別展のために、講堂での同窓会イベントとしての協力は出来ませんでした。例年通りお馴染みのプロマジシャンのRYOさんが、同窓会ブースの前でマジックショーを行い、会場は大いに沸き、盛り上がりしました。年々同窓会の出店も定着してきており、同窓会の存在感も十分にアピールすることが出来ました。



2011(平成23)年度の全国大会出場クラブ紹介

高/中	クラブ名	出場大会名
高 校	柔道部	2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会(団体・個人6名) 81kg級 第3位 香川健吾 団体 第5位 第34回全国高等学校柔道選手権大会(個人・団体) 第67回国民体育大会(個人3名) 第24回全日本カデ柔道体重別選手権大会 90kg級 第1位 貫目純矢
	剣道部	第59回高等学校剣道大会(個人1名)
	弓道部	第30回全国高等学校弓道選抜大会(団体) 2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第67回国民体育大会(2名) 近的競技 第2位 遠的競技 第5位
	空手道部	第31回全国高等学校空手道選抜大会(団体)
	バレーボール部	第64回全日本バレーボール高校選手権大会 2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会 ベスト8 第67回国民体育大会 少年男子の部 第4位(11名)
	ボクシング部	第23回全国高等学校ボクシング選抜大会(個人1名) 2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会(個人5名) 第67回国民体育大会(個人2名) ウエルター級 第2位 原田直樹
	自転車競技部	2011(平成23)年度全国高等学校選抜自転車競技大会(団体) 第66回国民体育大会(2名) トラック競技 ポイントレース 第5位 海老本拓也 2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会(2名)
	体操競技部	2012(平成24)年度全国高等学校総合体育大会(団体) 第67回国民体育大会(団体)
中 学	柔道部	第43回全国中学柔道大会(個人2名)
	体操競技部	2012(平成24)年度全国中学体操競技選手権大会(団体)



金メダル獲得に期待が高まりました。
なお、上川大樹君
が出場した男子100kg超級では、善戦にもかかわらず僅差で二回戦敗退の結果となりましたが、上川君にとって大きな経験となり、四年後のブラジル五輪での戦いが大いに期待される所です。

一昨年東京で開催された世界柔道選手権大会において、本校出身の上川大樹君(現京葉ガス)が無差別級で見事に金メダルを獲得し、ロンドン五輪の日本代表選手一番切符を勝ち取りました。この栄誉は本人はもとより広島県及び母校柔道部を取り巻く関係各位の誇りでもあり、この喜びと共にロンドン五輪での活躍を願い、今年七月八日壮行会が行われました。

会場であるANAクラウンプラザホテル広島には、松井広島市長、広島県体育協会会長をはじめ多くのご来賓にご列席いただき、本校からは高橋理事長、吉田校長、学園理事、同窓会役員、本校教職員、PTA役員また、本校柔道部川口総監督以下、崇徳会、崇友会、崇親会など400名近くの来場者で大変盛大に執り行われました。同窓会を代表して大本会長から記念品が贈呈され、会場内はロンドン五輪での

ロンドン五輪(柔道)
上川大樹君 壮行会

世界に飛躍する同窓生

「文化庁芸術祭賞で優秀賞」

落語家 古今亭 菊丸 さん

呉市出身で本校を昭和四十四年に卒業された、古今亭菊丸さん(実名：占部正夫)が、平成二十三年度の文化庁芸術祭賞で、大衆芸能部門の優秀賞を受賞されました。そこでこの度の受賞にあたり、菊丸師匠からいろいろなお話をお伺いしました。

●まず、なぜ落語家を目指されたのですか？

崇徳高校を卒業後、広島修道大学に進学し大学時代に落語研究会に入部、その時から「これが天職だ」と強く思いました。

●古今亭内菊師匠に入門されましたが、その経緯について教えてください。

修大落研時代に話芸研究家の関山和夫先生に出会い、師内菊を紹介していただき、師匠の独特の内菊に魅せられたのがきっかけとなり入門にいたしました。

●落語の面白さ、魅力とはどのようなものでしょうか？

まずは、座布団一枚あればどこでも演ずることが出来ます。また、同じ断であっても、演者やその日のお客様によっても違った味になる点でしょう。

●では、落語を楽しむポイントを教えてくださいませんか？

漫才とは違い、ストーリーのあるものなので、断に集中していただけるとより一層楽しめると思いますよ。

●ここで師匠の崇徳高校時代の思い出についてお聞きします。

特に印象に残っている先生で、担任していただいた英文法の熊本先生、英読本の中村先生、日本史の明石先生方の形態模写をやって、クラスメートを大笑いさせていたことでしょうか、それが今の落語家の原点だったかもわかりませんね。

●最後に、これからの抱負と皆さんへのメッセージをお願いします。

広島でももっと古典落語を楽しんでもらいたいと思っています。年4回、とうかさん(円隆寺)で落語会を開いていますが、同窓生の皆さんからのお呼びであれば、喜んで伺いますのでお気軽に声を掛けてください。

以上、明るく楽しく、おもしろい上品な古典落語を目指す菊丸さんの、益々の健康とご活躍を念じます。



芸歴

昭和五十年十月 古今亭内菊に入門 前座名「菊助」

昭和五十一年二月 広島修道大学卒業

昭和五十五年六月 「二ツ目昇進「菊之助」と改名

平成二十二年三月 真打昇進「菊丸」と改名

受賞歴

昭和六十一年一月 第一回 NHK新人演芸コンクール優秀賞

昭和六十二年十月 第二回 NHK新人演芸コンクール優秀賞

平成二十四年一月 第六十六回 文化庁芸術祭

大衆芸能部門・優秀賞

近畿崇徳会 総会

平成二十四年「総会」を三月二十五日(日)、大阪市中央区の中国料理「大成園」で、崇徳学園から吉田校長、同窓会より中川監査、田部事務局、また関東支部からは正副会長のご来賓をお招きし、近畿崇徳会会員合わせて十九名の出席を得て開催いたしました。

当日出席の会員の中には、バレーボールの全日本代表選手として東京オリンピックなどで活躍された森山さんもおられ、総会後の懇親会では当時のエピソードをご披露され、皆さん大いに盛り上がる中、終始和やかに懇談していただきました。さて当会では、総会のほか近畿広島県人会、広島県・関西同窓会協議会(広島県同窓会協)、県人会傘下の総協)と連携して甲子園での全国高校野球、また京都での全国高校駅伝、大阪・花園の全国高校ラグビー大会などの応援にも積極的に協力、活動しております。そして文化面では今年、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して広島同協の協



力を頂き、当会として初めて「西本願寺」への参拝(拝観行事を計画し、九月八日)の参加で実施いたしました。当日は重要文化財の阿弥陀堂・御影堂や、国宝の飛雲閣・書院・唐土院などに参拝。拝観の後、道路を隔て向かい側に昨年四月に開館した「龍谷ミュージアム」で「二十世紀視頭 大谷探検隊」より初めて日本で学術的に調査された「シルクロード」における様々な貴重な資料を見学するなどしました。今後とも会員相互の親睦と協力を目的として、会員増強とも併せて地道な活動を続けていきたいと考えておりますので、今後とも同窓会諸兄のご指導をよろしくお願い申し上げます。

関東支部 総会

平成二十四年度総会が、七月七日(土)に、例年通り、本校昭和四十八年卒業の重本康成さんが経営の「ホテル機山館」(東京都文京区)で行われました。

当日は関東支部黒川会長以下、支部役員、会員の皆様はじめ本校より、高橋理事長、吉田校長、大本同窓会長、事務局の田部先生も広島から駆けつけ、総勢約50名の参加で盛会に開催されました。

総会後の懇親会では、古今亭菊丸さんが、平成二十三年度の文化庁芸術祭賞の優秀賞を受賞されたことを祝し(6面に紹介記事)、同窓会大本会長より記念品が贈られました。なお、当日はご本人が欠席のため、柳家福治さんが代わりに受け取られました。

懇親会の締めくくりとして、来年の総会懇親会への再会を期し、今年も参加者全員での校歌斉唱で幕を閉じました。



なお、関東支部の重鎮として長年にわたり代表幹事をされました島原昭士氏(昭和二十三年卒)が八月七日急逝されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますと共に、これまでのご功績に対し深く感謝を申し上げます。



現在の当社前



昭和40年頃(北大橋開通日)



崇徳学園同窓生の皆さんがさまざまな業界や地域でご活躍されています。今回も頑張る同窓生をご紹介させていただきます。

信頼のメカニクスとアフターフォローで カーライフのトータルアドバイザーをめざす

「ソトク自動車」です。と云えば、学校の前に本社がある為、崇徳学園の出身ですか？学園と関係があるんですか？と必ず聞かれます。確かに、卒業生は数名いますし、代表者の私も五十五年卒業生ですが、当然、直接関係は有りません。
実は、創業者の父が昭和四十年に、この地で整備工場を始め、学校の前の橋(北大橋)は無く、行き止まりでした。その上、前の道路は未舗装の砂利道で、今では想像もできないと思いますが、私は子どもの頃はここでキャッチボールをしたり、ドラム缶で焚き火をしたりもしていました。建物のあまり無く、会社の場所を説明するのに困った父が、当時の校長先生に、目印に「崇徳」の名前の使う打診をしたそうです。返事は「崇徳」でなくカタカナで「ソトク」なら良いのではないかと。だいたそそう。亡くなられた西田校長先生から、私が生徒の時に聞かされてました(だから真面目に勉強するようにと。)

この冗談のような経緯から、かれこれ五十年弱経ちますが、今でも崇徳学園前の「ソトク自動車」と言えば、場所を間違ってお客さんはほとんど無く、うちの会社は本当に学園に足を向けては寝れません。

さて、仕事内容ですが、四十歳以上の方は生徒の時、学校の道向かいの角地に整備工場があったのを、何となく覚えておられると思いますが、今は本社工場を裏に移し、「マツダオートザム楠木」と言うシヨールームにして、マツダ車売るディーラーになっています。

名前を打診した、父は三十年前に急死した為、私かその後代表をしていますが、その当時の忘れられない思い出があります。グラウンドから野球部の打ったボールが、レフト側にある当社に、よく飛んできて、車に当たったりもしたそうです。父は、車の心配ではなく、「今年の打線は強力だ、甲子園行くかも」と反対に喜んでいたので思い出します。旧校舎で、もちろんフエン入拡張する前の事ですが、家も学校に近く、悪友が崇徳中学の時から、いつも遊びに来ていました。今ではその時が一番楽しく、五十歳になった近々でも、何か有ると集まれる仲間が持ってた事に、本当に感謝しています。

有限会社ソトク自動車 広島市西区楠木町三二一八
マツダオートザム楠木 広島市西区楠木町三二一三三

代表取締役 増田 耕士 (昭和五十五年卒)

「すべては地域のお客様のために」

第一タクシー株式会社



厳しい旅客輸送業界の中、「第一タクシー株式会社」のリーダーとして活躍しているのが、中富元さん(平成四年卒)。タクシー四台で始めた昭和四十三年の創業以来「お客さま第一主義」をモットーに皆様の信頼される足となるよう努められ、すばらしいお客様恵まれた地域、優れたスタッフにより業績も順調に推移されています。三代目の代表取締役社長として、中富さんに課せられた使命は「お客様の信頼を守り続ける事」と「夢・目標を持って職場づくり」でした。夢・目標を持つていると良い仕事が出来ると思い、実現させるために頑張ると話され、仕事に対する満足度は給料だけでなく、自分の能力を向上できるか、責任ある仕事ができるか、それに地域社会に役に立っているかどうかで決まると考え、そんな魅力あふれる日本一のタクシー会社を目指されています。

現在、広島市安佐南区を中心に小型・中型タクシー、ジャンボタクシー、ハイヤー、霊柩車、貸切バス、路線バス、寝台車等、約百三十台の車両を保有し、地域の皆様の身近な足として運行されておられます。本年は初心に帰るべく「安佐南区の地域のお客様の為に」を経営指針としており一層、事故防止講習・新人研修・接遇研修地理研修等に力を入れておられます。

さてそんな中富社長の崇徳での思い出は、普通では体験できない中学一年生時の寮生活でした。初めて親元から離れての団体生活で貴重な体験であったらしく、いつも大芝グラウンドを通る時、昔を思い出しながら懐かしく見てましたが、現在はその寮もなくなっていますので寂しく思いながら通つてますとのことでした。

また、中学・高校と六年間柔道部在籍されており、稽古はきつく休みもほとんどありませんでしたが、礼儀作法等も身に付き今ではその時の経験が社会人としてとても役に立っておられるとのこと。最後に、「お客様が喜ばれる、安心してご利用いただけるタクシー」を目指して社員一同最善の努力していく第一タクシーを、引き続きご支援をいただきたいと思います。話される中富社長でした。



第一タクシー株式会社

広島市安佐南区相田二一五十八

TEL 〇八二一八七八〇〇〇一

代表取締役 中富 元 (平成四年卒)

★頑張っています。文化部……

SOTOKU
グリーククラブ



平成二十四年度よりグリーククラブ常任指揮者を務めさせていただき、平成十一年度卒業の伊藤晋平と申します。在学時はグリーククラブ第三十二期生として活動させて頂きました。現在の部員数は三十名から四十名で活動しております。私も学生時代によく言われた「人数も実力のうち」という言葉を改めて痛感しております。主な活動の九月に開催します定期演奏会、夏に開催される合唱コンクールに参加して全国大会出場を目標に日々練習をしています。

今年のコンクールは八月十八日に安佐南区民文化センターで開催されました。結果は高校の部Bグループで出場し、惜しくも銀賞で中国大会出場を逃しました。年明けから練習を開始し、「声を出せ」と言い続けましたが、部員もよくそれに答えてくれたと思います。ホールに響き渡る自分たちの声の「残響」、「高校生らしい、崇徳グリーらしいさかい」という審査員の先生方の講評は決して悲観するものではないと思えます。むしろ、部員たちの活動も少しずつではありますが活気を感じるものになってきております。

九月九日に行いました第四十二回定期演奏会では、たくさんの方々にお越しいただき、現役生、そしてOB会の合唱団であります広島オルフェオンの方々と充実した演奏をすることができました。第三ステージでは例年通り、生徒企画ステージを担当させて頂きました。崇徳グリー、生徒企画「例えば企画」と言われるように、新しいことにチャレンジをしつつ、男声合唱団の魅力を発信できればと、今年も「美女と野獣」を男子高校生だけでミュージカル風にアレンジしてみました。笑いあり涙あり、トラブルも多々ありましたが、喜んで頂ける演奏ができたのではないかと思います。

人数が減少し、全盛期のように華やかな活動は困難になりましたが、諸先輩方が培ってこられた「継続は力なり」というクラブのモットーを大切に受け継ぎ、再び「崇徳にグリーあり」を目指し、学生ともども精進してまいります。



日食観察会

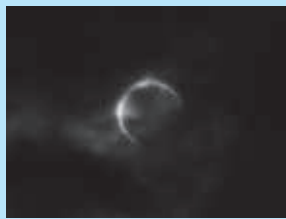
SOTOKU
中学校トピックス



2012年5月21日に、国内では21年ぶりの金環日食が起こりました。残念ながら広島では部分日食でしたが、三年前よりも大きな食が観察できました。次に今回の規模の日食が観察できるのは23年後ということもあり、この千載一遇のチャンスを逃してはいけないと、中学生を対象とした日食観察会を開きました。

今回の観察会では、1年生から3年生まで、合計41人という予想よりも多くの生徒が参加してくれました。この日のために、生徒自身の手作り日食グラスも準備しました。当日はあいにくの曇り空でしたが、集合時間の7時15分には、雲のすき間から欠けた太陽を観察できました。このあと、7時半前には最大食となり、三日月をもっと細くしたような形から少しずつ太くなる様子も見ることができました。

観察を終え、「すごかった。」「や「初めて見た。」など生徒の反応の良さを見て、改めてこのような機会の大切さを感じました。また、ホテル観察会や広大で行っている天体観測会など、様々なイベントを企画し、生徒の興味・関心を少しでも高めることができればと思います。



編集後記

今年の夏、ロンドンオリンピック・パラリンピックが開催され、史上初や〇〇年ぶりのメダルとオリンピック史上最高のメダル数に輝いた日本製の活躍は記憶に新しい。朗報もあり、落胆もあり。深夜に亘るテレビ観戦で寝不足や体調不良になった方も多かったのではないだろうか。試合直後のインタビューでは「自分ひとりの才能や能力で勝ち取ったのではなく皆のおかげ」「チームのおかげ」「応援してくれた人たちのおかげ」と感謝に溢れたコメントが多く聞かれ、昨年の東日本大震災以来の「絆」を意識したものに私は感じられた。

今年も年に一度の同窓会総会・懇親会の日が訪れた。史上初や〇〇年ぶりでもないか。より多くの同窓生が参加し、これからの崇徳学園同窓生という一つの絆を深めていただければ幸いです。

崇徳学園同窓会副会長 片山 淳 (S51年卒)